

平成18年度かじがや障害者デイ・サービスセンターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団（川崎市川崎区砂子1-10-2）
(2) 指定期間	平成18年4月1日 ～ 平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	・障害者デイサービス業務 ・生活支援事業 ・管理施設の維持管理に関する業務 他

2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	平成18年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
① 施設・設備の維持、管理に関する業務	施設・設備の点検等については、専門業者に委託し確実な施設の管理運営に努めた。	今後においても安全性に留意した施設管理を望む。
② 職員配置及び教育・研修の状況	職員の育成、自覚の高揚と業務遂行上必要な専門的知識の習得など質の高いサービスを提供できるように努めた。 【内部研修】歯科研修 支援計画作成演習 【外部研修】個人情報保護研修 口腔衛生研修 相談支援従事者研修 ボランティアコーディネーター研修	積極的に研修を実施して職員の資質向上に努めており評価できる。日常業務とうまく調整しながら外部研修の受講など引き続き行うよう求めている。
③ 関係機関等との連携・地域とのつながり	地域に開かれた施設として、春コンサート、市民の体験学習、近隣の小学校のふれあい学習、保育園との交流行事など積極的にかかわり地域住民の理解と協力が得られるよう努めた。	施設の運営には地域の協力は不可欠であるが、そのための行事開催など数多く行っており、高く評価できる。今後も地域に開かれた施設として、地域との行事を継続していただきたい。
(2) 利用状況		
① 利用状況について	4月に養護学校新卒業を3名受け入れ、登録27名で運営した。6月に1名が通所更生施設に移行し9月に1名が在宅となり登録者が25名となった。 18年度は、1日あたりの利用率が85%を超えている。	85%という利用率は、多くの利用者から支持されていることの表れと思われ評価できる。今後もこのまま続けていただきたい。
② 安全管理等への取組み	・避難用品や非常食を備蓄し、年4回避難訓練と年1回家族緊急連絡網による伝達訓練を実施。 ・事故2件発生。イスから立ち上がる際の転倒、送迎車からの降車時の転倒。外傷等はなし。 センターにおける危機管理に関する指針に基づき、行動するよう努め、同じような事故がおきないようにセンター全体で連携していく。	避難訓練等を定期的に行うことで、「いざ」という時への対応がなされており、評価できる。 事故防止については、注意し過ぎることはないため、事故ゼロを目指すよう職員への指導を望む。

評価項目	平成18年度管理運営の状況	評価及び指導
(3) 収支状況		
① 収支状況	<p>収入 115,210,419円 利用料 64,368,926円 委託料 47,887,000円 その他 2,954,493円 支出 105,420,049円 人件費 76,856,425円 事務費 18,715,878円 事業費 6,237,105円 その他 3,610,641円 差額 9,790,370円</p> <p>収入のうちおよそ55%が利用料、40%が市からの委託料である。支出は、74%が人件費支出となっている。</p>	<p>指定管理初年度で、利用料収入の見込みが想定しにくい中で、979万円のプラス収支となったことは評価できる。今後とも安定した施設運営を希望する。</p>
(4) その他		
① 利用者からの意見・要望等への対応	<p>18年度について特に苦情はなし。利用者の意見は、日常的に担当者が直接受け、家族とは連絡帳などにより意見を受ける機会を設けている。年1回個別面接も実施。また、直接言いにくい方のために、相談ボックスを設置している。</p>	<p>直接・間接の意見收受の場を設けており、施設の改善に向けた積極的な姿勢がみられ評価できる。</p>
② 個人情報の保護	<p>個人情報の保護に関する法律及び川崎市の基準に基づき、当法人が策定した綱領にしたがって利用者等の不利益が生じないよう対応した。 また、外部の個人情報保護研修も受講した。</p>	<p>継続して個人情報の適切な管理に努めるよう求める。</p>

3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

施設管理・職員研修・地域との連携他いずれの面でも適切なされているといえ、評価することができる。今後も現状を維持した運営を継続していただきたい。

4 来年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

職員の研修について、充分とりいれていると言えるが、座学だけでなく介護技術習得といった専門技術習得の研修を盛り込むよう希望する。